

クマを知り、人との「距離」を考える。

宇都宮動物園にて夏休み企画展『クマと人との距離～クマを知ることから始めよう～』を開催



『クマと人との距離 ～クマを知ることから始めよう～』企画展ロゴ



比較パネル

宇都宮動物園（所在地：栃木県宇都宮市、代表：荒井賢治）では、2026 年 7 月 20 日（月）から 8 月 31 日（月）まで、園内のホワイトタイガー舎前雨天休憩所にて、企画展『クマと人との距離』を開催します。

近年、全国各地でクマの出没や人身被害が相次ぎ、クマと人との関わりが大きな社会課題となっています。今年 6 月には宇都宮市内でもクマの目撃が相次ぎ、クマと人との関係は、私たちの身近な地域においても関心の高いテーマとなっています。

本企画展では、日本に生息するヒグマとツキノワグマの違いや実物大での大きさ比較、ツキノワグマの春夏秋冬の暮らしや生態などを紹介します。また、ツキノワグマの赤ちゃんの重さを体感できる展示を予定しているほか、「なぜクマは街中まで来るのか」「街に現れたクマはどうなるのか」「クマがいなくなったらどうなるのか」「クマが街中まで来ないようにするためには何ができるのか」といったテーマを通して、人とクマとの関わりについて考えます。

クマは、人に危害を及ぼす可能性のある野生動物です。しかし、ただ「怖い動物」として捉えるだけではなく、厳しい自然環境の中で生きるクマの生態や暮らしを知ること、クマとの適切な距離を考えるために大切なことです。

人とクマとの距離が近づきすぎること、双方にとって悲しい結果につながる場合があります。では、どのように距離を保ち、共存していけばよいのでしょうか。本企画展では、展示の最後に「私たちにできることは何だろう」と来園者に問いかけます。動物を飼育し、その生態や命について伝える動物園として、展示を通じてクマへの理解を深め、一人ひとりが人とクマとの距離について考える機会にしたいと考えています。

～ イベント詳細 ～

- 企画展名：クマと人との距離 ～クマを知ることから始めよう～
- 開催期間：2026 年 7 月 20 日（月・祝）～8 月 31 日（月）
- 会 場：宇都宮動物園 ホワイトタイガー舎前雨天休憩所
- 展示内容：ヒグマとツキノワグマの比較、ツキノワグマの四季の暮らしや生態、体験展示、クマが人の生活圏に現れる背景と共存についての展示など

クマと人との関係が改めて問われている今、子どもたちをはじめ多くの方に、クマを知り、人との距離について考えていただく企画展です。ぜひご取材・ご紹介くださいますよう、お願い申し上げます。

【問合わせ先】 宇都宮動物園 （担当：園長 荒井賢治）

H P： <https://utsunomiya-zoo.com/>

Mail： info@utsunomiya-zoo.com

